



2013～14 年度
国際ロータリー会長

Ron D. Burton

Weekly Report Niigata



2013～14 年度
新潟ロータリー会長

山本 正治



ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

2013～14 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 10月第 3例会 (2013.10.15) No.3013

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 山本 正治会長挨拶

今月は「米山月間」でもありますので、米山奨学会についてお話しします。私は今までのロータリー活動を通して、米山記念奨学会についてはかなり知っていると思自負していました。しかし会長挨拶文を書くに当たって、その歴史を調べて不明を恥じました。この奨学金制度は、東京ロータリークラブの初代会長であった米山梅吉さんご自身の提唱で創設されたと思自負していました。またアジアからの留学生に限定した制度と思自負していました。

1946 (昭和 21) 年に米山さんが亡くなりました。それから6年後の1952 (昭和 27) 年、東京ロータリークラブ会長の古沢丈作さんが、米山基金の創設を提案しました。ロータリージャパンの公式文書に次の記載があります。「就任草々、会員はその誕生日の週間の例会に、夫人を同伴しようと、フェミニストぶりを発揮しての提案で、会員をびっくりさせたり、また、1953年3月15日の例会では、例会時間の15分延長を即決する離れ業を演じたのである。前者は実行されず、後者も永続させずに終わったが、彼が残した業績の中で、米山基金の設定は燦として輝いている。」

米山さんが生前東南アジアに関心を持たれたので、アジア諸国から留学生を日本に招こうとしたのが基金設立の目的でした。留学生第1号はタイから、2号と3号はインドからでした。1957 (昭和 32) 年にロータリー米山奨学会が成立し、8名の日本滞在中の留学生を支援しました。すべてアジアからの留学生でした。1967 (昭和 42) 年に財団法人ロータリー米山記念奨学会となり、2012 (平成 24) 年には公益財団法人に移行しました。

奨学生をアジアに限るとはどこにも書いてありません。日本で学ぶ外国人留学生が対象になっています。今までに1万6千人以上の留学生を支援しておりますが、中国、韓国、台湾はもとより、北・南アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、大洋州など100カ国以上に及んでいます。

『米山学友の群像』があります。これを読み、奨学生からの感謝の言葉に私は目頭が熱くなりました。ここに紹介します。タイトルは「ネパールの梅吉になりたい。母国の子どもたちのための教育基金を創設」です。ネパールのギリラムさんです。

ネパールの山村マルディコラで生まれ育ち、苦学の末に日本のODA (政府開発援助) プロジェクトを経て、最先端の電気電子工学を学ぶために来日。大学2年のときに子どもの教育に私財を投じた米山梅吉氏の生き方に感銘を受けて、母国ネパールの教育向上を目指した北海道マルディコラ・ネパール教育基金を設立。講演活動で支援を広げて、母国の貧しい子どもたちに奨学金を送る活動を続けている。

ところで新潟ロータリークラブは今までに34名の奨学生を受け入れました。第1号は1968 (昭和 43) 年の張達聰さんです。台湾からの留学生でした。第2号は1972 (昭和 47) 年の何汝朝さんです。マレーシアからの留学生です。1962 (昭和 37) 年に新潟大学医学部に入学し、現在も新潟で活躍されています。私の同級生でもあります。いつか受賞者すべての方々にお会いして、その後の活躍ぶりを知りたいと思っています。

米山記念奨学会は日本が世界に誇るロータリー活動です。これからも個性輝く活動として重点的に取り組まなければなりません。そう考える理由ですが、2013 (平成 25) 年から始まった未来の夢計画で、今までの財団奨学生制度は様変わりするはずですが、未来の夢計画における地区補助金 (注：通称である新地区補助金を本書では地区補助金として記載) で、従来通りの奨学金に回せる予算は限られます。またカウンセラー制度もなくなり、ロータリーとしての今までの面倒見の良さは損なわれていくに違いありません。

これに対して米山記念奨学会は、世話クラブとカウンセラー制度がしっかりしています。本奨学会がわが国で民間最大の奨学事業となっており、私たち日本のロータリアンは本事業にさらなる関心を持ちたいものです。

私が求めるアウトカム (事業成果) は、留学生から寄せられる感謝の一言で十分です。

(3) ビジターの紹介

・松本英明君 (浪江 RC) 室賀信宏君 (白根 RC)

(4) 委員会報告

・佐藤 紳一米山奨学副委員長

米山奨学委員長セミナー報告(徳永 昭輝委員長レポート代読)、と米山ワンコイン寄付のお願い

・斎藤庫之丞国際奉仕委員長

2回にわたりお願い致しました、アムール川氾濫被災者への義援金、合計87355円の御協力を頂きました。有難うございました。

(5) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(佐藤 紳一副委員長)

岡村 健吉君

(6) ニコニコボックス紹介(金親 顯男副委員長)

・森井 満男君 職場に新しい仲間が増えました。娘がダンス大会に出場して楽しくおどっていました。ふたつの楽しいことにニコニコしています。

・照内 太郎君 10/12の結婚記念日にお花を頂きありがとうございました。妻は花が届いて記念日に気付いたと申しています。照れ隠しであると信じています。また、13日にはハーフマラソンに出場しました。目標タイムに届かなかったものの、気分良く完走出来ました。ふたつあわせてニコニコします。

・望月 大輔君 新潟シティマラソンでフルマラソンを走りました。念願の新潟シティマラソン初参加でしたのでニコニコします。

・高橋 清文君 一昨日の日曜日、新潟シティマラソンの10Km 走に参加して来ました。当日は膝の痛みがひどく大変苦しかったのですが、何とか関門をくぐりぬけ完走できました。来年は体調を整え再度ゴール前で佐藤 紳一さんを抜き去りたいです。

・「少年H」と「不良オヤジS」 10月13日チョット風が強く肌寒かったのですが好天に恵まれ8:30スタート新潟シティマラソンに出場して来ました。「少年H」はハーフ「オヤジS」は10Km という事はニコニコは半分が良いという事です。心からニコニコします。思い出しました。お相撲さんが1名いました。

・山本 正治君 ピアニスト濱田さんから私の好きなテネシーワルツを弾いて頂きましたので。

・金親 顯男君 今年も10月5日に結婚記念日の花が届きました。お陰様で無事に45年目に突入しました。

(7) 会員スピーチ

「スマートフォンの現状とビジネス活用」

株NTT ドコモ新潟支店長 熊高 信治君

(8) 本日の出席率 78.16 %

(2週間前メーク後 85.40 %)

コ ラ ム

(株)JTB 新潟支店長 遠藤克也

新潟県の旅館紹介

贅を極めた名旅館

『白玉の湯華鳳・別邸 越の里』

今日は新潟県で最もハイクラスな和風リゾート旅館である『月岡温泉・白玉の湯華鳳(別邸越の里)』をご紹介します。

2007年に、白玉の湯華鳳に隣接する場所に『別邸越の里』がオープンいたしました。

華鳳門を潜り、華鳳の正面玄関でお迎えをいただき、華鳳のコンベンションホール脇の専用通路を通過すると、いよいよ越の里のコンシェルジュサロンへ。

御香の香りと軽快な音楽が流れ、お抹茶を頂きながらのチェックイン。

600名を収容できる大型旅館の華鳳とは違い、7階建てながら全部で20室しかなく、1フロア4室だけのプライベート空間。

20室全部が露天風呂付スイートルーム。和洋室+ベッドルームのお部屋は80~100㎡の広さで、のどかな田園風景を眺めながらの露天風呂は心を落ち着かせてくれます。

食事は2階の個室料亭で、海・山・里の幸を堪能。

古き良き旅館のおもてなしとプライベートな居心地の良さが、最上級の寛ぎと至福のひとときを約束してくれます。

10月22日の例会予定 「月見夜例会」

新潟ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス
<http://www.niigataarc.jp/>

会員専用ページログイン情報

ユーザーID niigata

パスワード rcrcrc